

広報

No. 105

くさ

昭和57年 3月15日

発行・編集 国見町企画課

主な内容

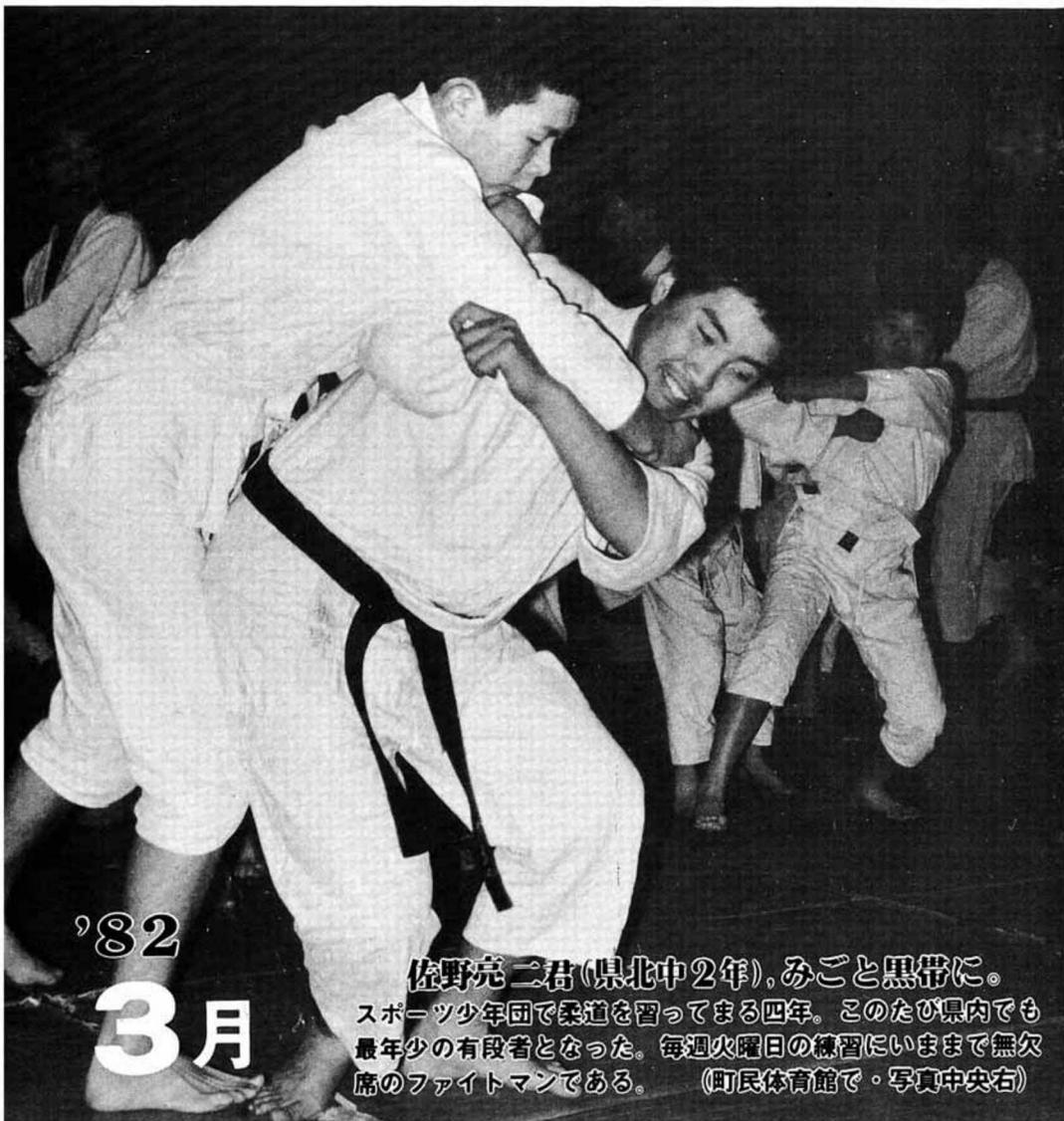
みどりを育てよう……………2～3

献血……………4

あの人この人……………5  
—後藤忠一さん—

おしらせ……………7

公民館だより……………8～9



'82

3月

佐野亮二君(県北中2年),みごと黒帯に。

スポーツ少年団で柔道を習ってる四年。このたび県内でも最年少の有段者となった。毎週火曜日の練習にいままで無欠席のファイトマンである。(町民体育館で・写真中央右)

### 緑は酸素を供給します

植物には、空気中の炭酸ガスを吸って酸素を吐き出す働きがあります。草花などに比べ、樹木はその働きが大きく、一の炭酸ガスを吸って、約二・七倍の酸素を吐き出します。

ちなみに人間一人が一年間に吸う酸素の量は、スキの木十六本が一年間に出す酸素の量と同じだといわれています。

また、樹木はほこりやばい煙などをろ過する働きもします。それは、葉の気孔から亜硫酸ガスなども一語に吸い込み、葉の中に硫黄などの物質を蓄えたり、幹や枝に

ほこりやばい煙を付着させてしまうためです。

都会や工場地帯の空気一立方センチの中に含まれているほこりやばい煙の粒子の数は、数百から数千といわれていますが、森の中では十をこそこです。この数字が、樹木の「ろ過効果」を物語っています。

### 緑は音をさえぎります

都会などで、車の行き交う通りから樹木の多い公園に入ると、それまでの騒音がうそのように消えてしまう——これは、樹木が音をさえぎる役目を果たしているからです。

### 緑を身近に

どのくらい防音効果があるかという点、幅三十メートルの森林は、騒音を約二十五ホン小さくします。成田の新東京国際空港でも、その効用を生かして防音林が造られています。

都会では緑がたいへん少なく、ビルの屋上などにも人口庭園を造って緑に接しているくらいです。その点、回りが自然に囲まれ、景勝の地である当町はたいへん恵まれた環境にあります。だからといって緑に無関心であってはならないでしょう。日本の景勝のほとんどは長い間人間が自然に手を加え、

守ってきたものです。

まず、身の回りから緑化をしてゆきたいものです。例えば、生垣のある家は少なくなりませんが、ブロック塀などに比べると、心がなごむ感じがします。また、庭に中心になる木が一本あれば楽しいものです。子ども誕生とか入学などの記念に木を植えませんか。高価な木でなくとも丈夫な木であれば、成長とともに思い出が刻みこまれ、わが家の名木になるでしょう。

### 桜 二千本を 植樹の予定

春はなんといっても桜。町では観月台公園の桜が有名。連日花見

### 山は宝なり

の宴が開かれますが、この桜は先人が植えたもので、今私たちはその恩恵に預かっているわけです。町では、大木戸地区の山根タメ池周辺から阿津賀志山頂までの林道両脇に桜の苗木二千本を植える計画があります。数年前には花も見られ、一大桜並木が出現し、もう一つの桜の名所となるのも遠い将来のことではないでしょう。



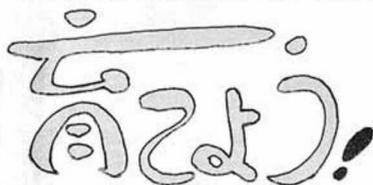
石母田財産区議長 斎藤実さん (59)

山への関心が少なくなっている現在、森林の経営はたいへん難しいものがありますし、日常生活の変化で、草刈りや柴刈りをするものがなくなつたので、山も荒れています。

しかし、山は数十年先のことを考えるものですから、決して山を見捨てることなど、全山を緑化してゆきたいと思えます。木材資源ばかりでなく、土砂防止や水資源の確保には緑化を怠ってはなりません。「山は宝なり」の祖先の教えは今でも生きています。



町の文化財、大カヤと大藤 (樹齢五百年以上・深山神社)



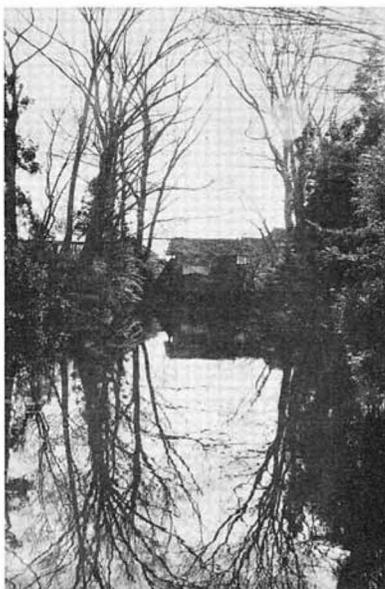
初代藤掛松の図 (佐藤忠美さん所蔵)

# 五葉松

菊地善吾さん(塚野目・五八歳)の庭には、樹齢二百年ほどの見事なシモフリ五葉松がある。高さ五メートル、幹の径は四十七センチばかりだが、枝ぶりが大きく笠の径は六メートルもある。先祖代々大切に育て継がれて、この辺には見られない貴重なものとなった。

近所の菊地イネさん(八三歳)の幼いころにはいい遊び場だったらしく「プランコしてよくしかられた」という。

何百万円の値段もつけられたそうだが、「ご先祖様にバチが当たるとてもお金には」とご主人の善吾さん。菊地家の生きた家宝である。



昔を偲ばせる石母田城のケヤキ林

# わが家の緑



菊地さんと自慢の松

# ユズ

斎藤勘十郎さん(石母田・七四歳)のお宅は、十五代続いている旧家。紅梅、クロ松など二百年以上もたつて老古木が多い。なかでもユズの大木はたいへん珍しい。樹高六メートル、周囲一メートルほど、樹齢はこれも二百年以上とか。ユズの北限は福島市あたりといわれている。斎藤さんのお宅は石母田城近くであり、背後は山のため、北風が遮られる環境にある。



ユズの大木を前に斎藤さん



春です。庭や山の木々も固いつぼみをやっとほころばせています。

3月1日から、全国各地で国土緑化運動が始まりました。森林は私たちの目に見えないところで生活を支えています。

緑に触れることの多いこの季節に改めて緑の効用と樹木の大切さをもう一度見直してみませんか。

# 町の林業



五十五年の農林業センサスによると、国見の現況森林面積は、千三百九十五ヘクタールで町の総面積の約四〇%です。十アール以上山林を保有する「林家」は、四百二十三戸ありますが、そのほとんどは農家で、林業のみで生計を立てている世帯はありません。

従って、林家が自ら植林していることは少なく、県行造林(県に山を貸して分取する)や保安林改良事業(県が植林から五年間手入れをする)での緑化が大半です。県行造林は五十五年度末で九十四ヘクタールにおよび、保安林改良事業は毎年六ヘクタールの規模で実施されています。

また、町では造林面積の拡大と森林資源の開発のため林道開設に力を入れています。五十六年には鳥取林道が完成、開通しました。さらには、泉田の赤坂林道を改良、五メートルの基幹道路として半田沼に接続させる計画が進んでいます。

林道と並んで、治山ダム建設も重要な仕事で、貝田四ツ穴地区の工事が完成、来年度には泉田地区の滝川上流にダム建設の予定があります。

血液は造ることはできない

# 愛の血液・助け合い



献血とは「国民がお互いに助け合いの精神によって、代償を期待することなく、痛み苦しんでいる多くの人々のために、自分の血液を自発的に提供する行為です。」

献血は尊いいのちを救う、崇高な人類愛のあらわれです。

## 人から人へ

### 尊い贈りもの

現代の科学の粋をもってしても血液は造ることができません。

この事実こそ「献血」―愛の血液助け合いの精神です。献血を通して助け合う社会の連帯の輪の中にみなさんも加わりませんか。

医療に必要な血液は年々その需要が増えています。ことに、一月～三月の冬場は献血者が少く、血液は不足しがちです。

一面当りの献血の量は、二百ミリリットルです。わたしたちの体には、ふつう約四リットルの血液が流れていますから、献血の量は全体の量の五％ということになります。

つまり、あなたの血液の五％が、輸血を必要とする病気の方や、交通事故に遭われた方々の尊い生命を救うのです。

一方、献血は、あなた自身の健康管理にも役立ちます。献血された血液について、血液型の判定をはじめ、肝機能や腎(じん)機能などのチェック、コレステロールの測定などいろいろな検査が行わ

れます。

もちろん、二百ミリリットル採血したからといって、あなたの仕事や日常の活動には少しも影響はありません。体内の血液量は、数時間で元の量に戻ります。

尊い生命を救うために、また、あなたの健康管理のために、すなわち献血に協力しましょう。

### 安全な献血

人それぞれの血液の量は、体重に比例していて、ふつう男性は体重の約八％、女性は七％といわれています。

たとえば、体重六十キログラムの男性であれば、血液は四・八リットル、五十キログラムの女性なら三・五リットルの量になります。

この血液が体内を一巡する時間は、約二十三分と短かいです。

さて献血は一回二百ミリリットルです。人間は、体内の血液量の一〇％は出血しても日常生活に差しつかえないと言われます。

ですから、献血の基準に達している人なら、一回二百ミリリットルの献血では、まったく心配ないと日本赤十字社では言っています。

## 昭和五十六年度

### 献血功労者を表彰

去る二月二十三日、昭和五十六年度献血功労者の表彰式が行われました。今年はその十二名の功労者で、それぞれ町長から感謝状と記念品が手渡されました。

また日本赤十字社からは、金色功労章が二名に、銀色功労章が十二名に贈られ、この日伝達されました。

#### ●感謝状と銀色功労章受章者

- 阿部 洋一(大木戸)
- 赤坂はるい(内谷)
- 大竹 ツネ(山崎)
- 斎藤 靖子(小坂)
- 六戸 敏子(大木戸)
- 鈴木百合子(森山)
- 廣居 重夫(森山)
- 実沢恵美子(森山)
- 八巻千代子(藤田)



後藤さん



朽木さん

### 金色功労章受章者

- 菊地 富子(石母田)
- 園分 次雄(藤田)
- 小池 芳男(藤田)
- 金色功労章受章者
- 朽木 好秋(藤田)
- 後藤 忠一(高城)

### 献血ありがとう

- 二月二十五日の献血者
- ▽農協 吉田昭一 室井市子 小早川隆 佐藤洋一 佐藤久美子 武田サト子 熊地美子 佐藤利吉 菅野善一郎 熊地文男 佐久間利国 相原実
  - ▽国見電業 紺野シマ子 鈴木和加子 赤坂裕子 大槻英紀 新田要輔 佐藤善美 藤田国枝 高橋三代子 佐藤栄子 片平マユエ
  - ▽清水製作所 佐藤幸夫 福水正春 曳地すみえ 遠藤俊博 武田光男 武田吉弘 松浦金雄
  - ▽国見ガス 高橋政味 鈴木広茂 八巻千代子 木村博良 谷口照子
  - ▽国見精機 近野キク 高橋庄次 中尾勝男
  - ▽国見野球場 国分次雄 松浦英夫 小池芳男 古川比司 安田博三 遠藤喜正 藤田高子 菅野信司 佐久間正 後藤善子 羽根田李司 引地由則 後野功 後藤登英子 八巻秋夫
  - ▽一般 朽木好秋 後藤忠一 居重夫 松田正博 斎藤規雄 半沢豊 八島富一 関根安雄 徳江博典 阿部ノブ 櫻刈栄治 鈴木百合子 黒田節子 笠松金次 内藤美 買藤節子 大友文一 西澄子 佐藤紀子 櫻沼裕二 西美佐子 吉田孝文 高橋力 佐藤重男 菊地玲子 大森忠次郎 大森京子 小西常夫 樋口馨 藤フミ子 松浦市太郎 実沢恵美子 天津森治 斎藤キヨ 大関正子 藤田トシ 藤田知子 堀尾和子 安積トシエ 佐々木栄司 遠藤豊和 高橋勝美 菊地忠良 藤ヨシ 高橋久藏 春日和光 八島和子 松浦ヨネ子 松浦悦子 吉田とき子 伊藤芳子

# 中山さん百万円を寄附

## 大木戸小学校教材費に

二月二十六日、中山隆さん(光明寺・五七歳)は、大木戸小学校の教材備品購入費にと百万円を町に寄附されました。

この春、孫の宗隆君が大木戸小学校を卒業するに当り、六年間お世話になったお礼をしたいと思います。出られたものです。



寄附をする中山さん(中央)

大木戸小学校では、早速、ビデオ、ビデオカメラなどの教材備品を購入し、毎日の勉強に活用しています。「講堂のピアノが古くて、調律しながらやつと使つてきました。中山さんのご寄附で新しくなり、子どもたちも大よろこびです」と山上校長は感謝のことばを述べています。

また、今日十三日には、中山さんを招いて新しいピアノの披露式が体育館で行われ、子どもたちが中山さんにお礼のことばを述べました。

# 宇佐美さんに緑十字銀章

## 交通安全功労者

去る一月二十日、東京で開かれた第十二回交通安全国民運動

中央大会で、宇佐美兵藏さん(錦町・六九歳)に交通安全賞「緑十字銀章」が贈られました。交通安全功労者としての受章です。

昭和三十三年に就任した藤田運転者会の役員時代から交通安全協会桑折支部副支部長の現在まで一貫して交通安全指導に力を注いでこられました。「交通安全は、ただ法規を守ることに過ぎません。ことばをかみしめたものです。」



おめでとう宇佐美さん

# あの人この人

(54)

## 国見町父子家庭福祉会長

### 後藤 忠一さん

(高城字旗針43・50歳)



「昭和三十六年女房と離別したときには、まだ娘が二つでした。それでも、おばあちゃんが生きていましたので、私もそれ程苦痛とは思いませんでした。が、だんだん成長するにつれて、子育てをしながら仕事するのは、人にならぬ苦勞がありました。」

いまは娘も二十才になり、一応安定した職につき、いままでの苦勞もむくわれた思いをしているという後藤忠一さんは、陽焼けした顔をほころばせて話してくれている。昭和五十三年に誕生した伊達地方父子福祉連の誘いもあり、国見町父子家庭福祉会を作ること、名簿の作成やら勧誘などと走り回って、ようやく同志十二人の協賛を得て、父子家庭福祉会設立の運びとなった。

現在、設立当初からみると、再婚された方もあって八名と淋しいが、政治的な動きを除いて、會員相互の親睦と融和につとめ、年一回行われる母子家庭との交流には、かかさず出席している。

父子・母子家庭親睦会には、先ず初対面であるだけに、少々固く

「おのれは並大抵の苦勞ではない、子供が小学校から中学校と成長するにもなつて、男の感覚では、どうすることもできない。「いちばん苦勞したのは、まず掃除洗濯です。父一人のために着せらるるのには苦勞しました。人並みに育てるのにどんな格好をさせたらいいか、女でない私には、見当もつかない。」

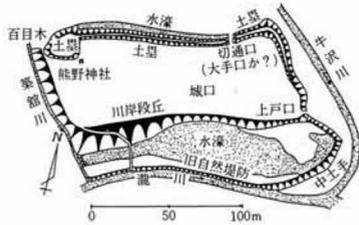
後藤忠一さんは陽焼けた顔をほころばせ、くつたかない表情で話しているのを見ると、人生を達観した、聖人の風格がある。

「同じような境遇の者同志が励まし、慰めあう会だから別に誇るべきものは何もない。ただ、この環境の中で、がんばっている者がいることを知ってもらえれば……。」

今日二十三日は、町の會員の生活ぶりがNHKで全国放映される予定である。

# ⑩ 館と城の見聞

## 西大枝・築館



西大枝・築館要図

作成資料  
西大枝村地籍  
図現地踏査及  
び聴取による  
調査

西大枝の築館は、阿武隈川のほんらん原を見おろす西根台地上にあって、東西一七〇m・南北七〇mの略長方形形状をなす平山城である。

南側は、ほんらん原との比高が五七mの河岸段丘で、その前面はかつての阿武隈川の旧河床で現在は滝川が東流している。東側は貝田に源を發する牛沢川が台地面を深く刻んで、小規模な川谷平地を形成しながら、館の東南地点で滝川に落ち合っており、西側も築館沢(仮称)が下効、その上流は滝地形をなし、百目木と呼ばれている。北側の東部は幅六m・高さ二mの土塁、西部には縦横二〇mほどの小山状の土塁が築かれてゐる。この両土塁の間は水濠と土塁とでつながれ、北側の平地面と

画されていたが現存しない。

明治十七年に作成された西大枝村地籍図によれば、館の南側は湿地となっており、その東部は中土手で切り切れ、水濠跡と考えられる。これらの点から築館を防備上の見地から見れば、平坦地と地続きの北側は弱点をなすが、他は急崖地形をなす要害の地である。館への通路は上戸口・百目木口・西南口および現在も切通しと呼ばれる箇所、北面の切通しが大手口と思われる、城内には城口なる地名も残されている。

築館の築城時期、来歴等については明らかでないが、若干の考察を試みた。館の形状よりみれば古い築城形式の、単純な単濠單郭式長方形館で鎌倉時代の築城とみられる。この館の西方の穴下まで

文治五年(一一八九)の奥州合戦に際し、藤原泰衡によつて築かれた阿津賀志山防塁が延びており防塁末端の堡として築かれたものであろうか。

「伊達世家家譜」の須田氏の項によれば、当家累世の臣で、伊達郡の築館に居城す」とある。また文禄三年「蒲生領高目録」の小手の部・下糖田村(現月館)は須田氏の本領とされ、伊達輝宗に殉死した須田伯耆の子息達は、伊達政宗がそれに報いなかつたのに不満をいだいて出奔し、合津若松の蒲生氏に任じ、下糖田村を下賜されたものである。下糖田村は天文二年までは懸田氏領であり、伊達氏譜代の須田氏が領有するのは懸田氏が亡んだ後のことで、それ以前に居城した築館はこの西大枝の築館の可能性が大きく、今後の検討に待たたい。

「西大枝区有文書」によれば、明治維新時には、仙台藩が築館周辺に砲台場を構築している。延享年間(一七九四～一八〇三)には築館には四戸の農家がみられるが、現在は一〇戸に増加している。

参考文献 これまで使用したものを引用した

菊池利雄



耳が痛いのは

## 「健康の赤信号」

三月三日は耳の日。

耳は非常にデリケートな器官で、耳自体にこれといった病気がないのに、体のほかの部分に異状があったりすると、耳が痛くなることあります。

耳が痛むときは、「健康の赤信号」とみて、注意しましょう。

### 〔耳自体が原因のとき〕

耳かきで外耳道を傷つけたような場合の痛みは、まず外傷による炎症だと思つて間違いないでしょう。応急処置としては冷湿布をし、早めに医師に診てもらいましょう。医師の指示に従い抗生剤を服用すれば、大体すぐ治ります。

急性中耳炎は発熱(三八〇四〇度)するのが特徴です。乳幼児が熱を出して内科で診てもらったが、原因がはっきりしないような場合は、念のため、耳鼻科でも診察を受けましょう。

子供の耳は、大人に比べ耳管が太くて短いため、外部からの刺激を受けやすくなつてきます。耳垢(あか)がたまると汚れたままだとよく、バイ菌が繁殖し、耳が痛くなることあります。



3月3日は「耳の日」

ります。耳はいつも清潔にしておきましょう。

〔耳以外の病気が原因のとき〕  
かぜ、インフルエンザ、慢性鼻炎などの影響で耳が痛くなることあります。

大人でも高血圧、肩こり、貧血、過労、衰弱、更年期障害などの病気のために耳なりがしたり、耳が痛くなる場合がありますので、ふだんから健康への気が配りが大切です。特に冬はかぜをひかないように気をつけましょう。

なお、鼻をかむときは、片方ずつ交互にかむように習慣づけるようにしたいものです。耳は鼻やのどに直結していますから、あまり強く鼻をかむのは良くありません。

更新月日	協力員宅に届ける日	地区
3月29日	3月27日	森江野、大枝
3月30日	3月28日	藤田、山崎
3月31日	3月29日	小坂、大木戸 石母田

国民健康保険被保険者証は三月三十一日で有効期限がきて使用できなくなりますが、必ず検認を受けてください。

検認の方法は、各部落の国保協力員(母子保険推進員)が一括役場に持参して行ないますから、更新前々日まで、協力員宅に届けてください。

### 国民健康保険 被保険者証の検認




国民年金の保険料を前納しませんか。一定期間の保険料を前納しますと割引があります。

国民年金の保険料は三カ月ごとに納めなければならないと、期限がきめられています。

うっかり忘れますと、不慮の事

### 国民年金 前納しませんか



三月・四月は、転勤、転職、入学などのシーズンです。慌ただし引越しなどの中に、忘れがちなのが各機関への移転届です。

町役場住民課、町水道課や郵便局、それに電力会社、ガス会社、電話局、またテレビをお持ちの方はNHKへの連絡が必要です。

住居移転の際は、忘れずに届出ましょう。

### 届け出を忘れずに



故のとき、障害年金や母子年金などが受けられないということにもなりかねません。

そのために、ぜひ有利な一年前納制度を利用することをおすすめします。

一年前納(四月中に)

保険料額	割引額	前納額
基礎保険料 六二、六四〇	一五、〇〇	六二、二〇〇
付加保険料 六七、四四〇	一六、三〇	六五、八〇〇

※前納する場合は役場年金係に直接申出てください。

### 労働保険の説明会



福島労働基準局では、昭和五十七年度概算(保険料と昭和五十六年度確定保険料の申告、納付手続き)と給付事務の説明会をつぎのとおり行ないます。

さきに送付してあります申告書などを持参して説明を受けてください。

○日時  
四月十九日 午前十時から

○場所  
桑折町福祉センター

※地域は桑折町、国見町、伊達町

町社会福祉協議会に  
菊地昭平さん(石母田原)から  
五万円  
故菊地ミツさんのご遺志  
松浦愨一さん(本町)から  
三万円  
故松浦愨助さんのご遺志  
阿部貞治さん(本町)から  
三万円  
故阿部清子さんのご遺志  
武田欣也さん(宮町南)から  
二十万円  
故武田彦一郎さんのご遺志  
国見ライオンクラブから  
四万円  
身障者福祉のために  
県北中学校に  
武田欣也さん(宮町南)から  
五万円  
故武田彦一郎さんのご遺志  
吉田孝司さん(宮町北)から  
二万円  
故吉田力さんのご遺志  
小坂小学校に  
日本歌神崇祖自修団日本天皇道奉賛会桑折道場小坂方部から  
校章旗二枚

### 善意の窓

道路を  
きれいにしよう  
じゃまになる木を  
伐りましょう

3月 弥生(やよい)

18日 彼岸入り  
21日 春分の日・彼岸の中  
22日 放送記念日  
23日 世界気象記念日  
31日 会計年度末

4月 卯月(うづき)

1日 緑の週間始まる  
5日 清明  
7日 世界保健デー  
10日 婦人の日  
11日 メートル法公布記念日

### 心配ごと相談日

場所：役場二階相談室(東側入口からお入り下さい)  
時間：9時～12時

こまったことや、相談ごとがありましたら、お気軽にご相談下さい。秘密は絶対を守ります。

[相談員]  
3月25日(木) 阿部 俊恒、佐久間 いち  
4月5日(月) 佐野 市郎、渋谷 愛子  
4月15日(木) 佐藤 勝、長谷川 キン

3月 弥生(やよい)

18日 彼岸入り  
21日 春分の日・彼岸の中  
22日 放送記念日  
23日 世界気象記念日  
31日 会計年度末

4月 卯月(うづき)

1日 緑の週間始まる  
5日 清明  
7日 世界保健デー  
10日 婦人の日  
11日 メートル法公布記念日



国見町公民館  
電話 (公)2676 (南)4156

### 公民館図書を農協の各支所窓口にて

本を読むと若くなるといわれま  
す。なぜでしょう。それは読書が  
心の健康に役立つからです。優れ  
た本といっしょに心を豊かに働か  
せている人は自然に目の輝きがま  
して、自信のある美しい顔となり  
美しく人生を送ることができま  
す。公民館では4月より農協の各支  
所に巡回文庫(一般図書のみ)を  
設置いたします。

### 昭和五十七年度

### 学級生を募集いたします

町公民館では、昭和五十七年度  
に開催する次の学級生を募集して  
おります。それぞれ、年間を通し  
て、教養学習、趣味、研修旅行な  
どが計画されています。  
町民のみならず誘い合せて参加  
して下さい。  
なお、詳しいことは、町公民館  
にお問い合わせ下さい。

### ◆乳幼児学級

対象者  
○歳一三歳児を持つお母さん  
方を中心とし、乳幼児教育に関  
心を持つ方。  
開講 四月二十八日(水)  
締めの切り 三月三十一日まで。

※ 託児に協力して下さいるボラ  
ンティアの方、公民館にご連  
絡をお願いします。



### ◆青年学級

定員 三十名  
締め切り 四月十日(土)  
対象 町内在住の二十三歳ま  
での青年男女  
(町内勤務者、学生も可)



青春祭での演劇

### ◆成人学級

対象 町内に居住するおむね  
六十五歳未満の壮年者  
(婦人も含む)  
学 習 月一回(昼間)  
締め切り 三月三十一日(水)

### 社交ダンス教室に通って



山崎 井砂のり枝

町民学校開催の回覧をみて、「社  
交ダンス教室」という文字が私の  
目に止まり、電話でそと「年齢  
制限」の有無を確かめてから申し  
込みをいたしました。  
黒羽先生を迎えての開校式の時  
「ダンスは全身の体操」という言  
葉をきき、私はある期待をかけま  
した。

ルンバ、ブルース、マンボ、ジ  
ルバ、ワルツと一つ一つのステッ  
プを覚えるのに必死でした。足が  
気になって下を向くので、「ハッ  
ぴり腰」になつたり、肩に力が入  
りすぎて肩が凝つたり大変なもの  
でした。でも、回を重ねる毎に緊  
張がほぐれ、面白味がでてまし  
た。

### ◆婦人講座

対象 町内に居住する婦人  
締め切り 三月三十一日  
内容 一般教養、健康管理、  
体力つくり、手芸、研  
修視察等

二時間も踊ると汗ばんできます。  
まして、ブルース、ワルツは広い  
ホールをばいばいに使うので  
いい運動になり体が軽くなった様  
な気がしました。最終回を迎える  
頃、誰からともなく「もう少し続  
けたい」と言うことになり、先生  
の御都合を伺いました。  
現在は週一回「月、金曜日の午  
後七時半から九時半まで」センタ  
ーのホールを借りて練習を続けて  
います。  
皆さんも是非一度、覗いてみて  
下さい。

それからパートナーの皆さん、  
今後ともよろしく願っています。



## 少年仲間づくり教室 に参加して

小坂小 佐藤保子

六月七日、わたしはこれからしばらくの間仲間づくり教室に期待をはげまして、母と一緒に公民館へ出かけました。全く知らない友達が大勢ならんでいて式がはじまっていた。わたしは初め、この大勢の人たちと友達になれるかしらと、とても心配でした。でも、この一年間少年仲間づくりに参加して、とてもよい勉強をしました。今まで全然知らなかった遊びをたくさん覚えまし。めかくしおにや、つかみおなどには特に楽しい思い出です。



みんな一緒に

プファイヤー。急な坂道でもがんばって、登りきったハイキング。みんなで作ってとてもおもしろかったとん汁。

これもみな、友達や指導者の皆様のおかげだと思います。また、こういう経験からたくさん友達ができました。

今年も私も六年生になります。今でもより、学級の仕事や児童会、委員会の仕事をいっしょけんめいにやり、学校の中心になって、がんばらなければなりません。

わたしは、この一年間、仲間づくり教室でいろいろと多くの事を学びました。遊びの方法、キャンブや集会のしかたなど、とくにわたしは、この教室に通って、「協力」のすばらしさを身にしみて感じました。

みんな力を合わせれば、なんでもできるということです。ひとりではなやむより、仲間と共に語り合い、はげまし合ってやればどんなことでも出来ることを強く感じました。

私はこの一年間に経験したこと、これからの生活に生かして、勉強にスポーツにがんばりたいと思います。本当にいろいろお世話になりありがとうございます。

## 文化団体紹介

藤田芙蓉会  
代表 岡崎 立子

私たちの芙蓉会は藤田婦人会のクラブ活動の一つです。

芙蓉会は国見町の阿部祥子先生を講師に、月二回公民館で夜七時半から、みんなが輪になって踊れる民謡

や歌謡曲の踊りを会員十四名で練習しています。年一回文化祭には発表のお仲間入りもさせて頂いています。ところで先日会員の方に、芙蓉会の踊りのよさをのべて貰いました。先づ第一には健康に良いクラブ



踊りの効果は抜群

ぶりがありました。来たようだ。次の人は、みんなと逢えて楽しいのでストレス解消とはこれが一番。また別の人は踊りを通してつき合っているの話し合っても世間話の悪さがなくみんな仲がよい。こちらの方では気が若ければ顔にまで出る。そして最後にはみんな一緒に芙蓉会の踊り場所をきらわす利用出来るしみんなに大も。この発表が一杯あります。阿部先生は常に上手下手は二の次手を振って歩ける方なら踊れる踊りなので、一人でも多くこの楽しみを味わって見れば良いのと言っておられます。この記事を読んで、それでは私もと思う方がいたら婦人会員でない方も、岡崎オートショップへお電話下さい。

## 町民バレーボール大会終る

冬の体力づくりの一環として、このほど町民協主催の町民家庭バレーボール大会が行われた。成績は次のとおり

- 優勝 宮町 チーム
- 準優勝 山崎 チーム
- 第三位 石母田チーム
- 第三位 病院 チーム



シレゆくぞ

## あつがし俳句会

二月 二十七日

- \* 神殿の太鼓太鼓ぶ打たる
- \* 冬の町日向ばかりを歩く癖
- \* 炬燵ほけ冷水を飲む山の宿
- \* 道祖神雪を褥に眠りをり
- \* 枯木にも花を咲かせて雪景色
- \* つれづれに老の談議や日脚伸ぶ
- \* 紅梅の今盛りなり旅に出る
- \* 白梅の清く香りに夫は亡し
- \* 降る雪やカルテに輪重ねつ、
- \* 畦道に孫と摘みゆく芦なづな
- \* ストープに話持ち寄る昼休み
- \* 暮りの肩に消えゆく春の雪

- 奥山 甲二
- 藤田 勝衛
- 佐久間 山月
- 奥山 雨田
- 加藤 痴仏
- 佐藤 國樞
- 五十嵐 田友
- 赤間 はる子
- 羽賀 えい
- 高橋 仙子
- 葦沢 秋子
- 森田 栄子

# 戸籍の窓口

(2月受付分)

出生おめでとうございます

子名	保護者	部落	西谷
明香	赤坂正弘	内谷	北山
千陽	佐久間正義	源山	田町
千々	高橋正俊	山原	西内
奈々	高橋長憲	山原	山田
秀樹	小林一明	源川	内原
裕み	鈴木道一	石本	町四
めぐ	菊新	山第	第
大友	井寺	第	第
春華	光一	第	第

ご結婚おめでとうございます

氏名	部落(前住所)	内島
川崎	福第	四北
敏み	正裕	宮宮
藤島	野橋	野野
寺仲	高野	野野
高野	野野	野野

おくやみ申し上げます

坂	ク	82	内谷	西町
赤松	キ	69	内本	町取
阿高	憩	75	本鳥	田北
斎八	浦	64	鳥貝	江山
斎八	政	81	徳滝	山崎
斎八	善	85	山崎	宮北
斎八	ス	86	宮宮	宮北
斎八	モ	80	宮宮	宮北
斎八	ト	89	宮宮	宮北
斎八	キ	65	宮宮	宮北
斎八	ツ	85	宮宮	宮北
斎八	ン	69	宮宮	宮北
斎八	ン	72	宮宮	宮北
斎八	ン	72	宮宮	宮北

## 人口と世帯

3月1日現在(前月比)	2月中のうごき	
男 5,898人 (-3)	転入	19人
女 6,242人 (+4)	転出	17人
計 12,140人 (+1)	出生	10人
世帯数 2,833戸 (+3)	死亡	11人

発行・編集 国見町企画課

電話九六九一七番藤田(〇四五八五二二二一)代



## 二十年目を迎える

### 町営牧野

二月十六日、町公民館で、町営牧野開設二十周年記念式典が盛大に行われました。昭和三十八年、町営牧野利用組合を設置、牧野開設してから二十年目を迎えるものです。

二十年の歴史を持ち、しかも現在発展を続けているこの種の組合は極めてまれなもので、それだけ歴代の関係者や組合員の苦労はいへんものがあります。高橋友義会長のあいさつの中でも、当



町長から感謝状を受ける八島喜久次さん

時の苦労話がユーモアを交えて語られ、出席者一同思い出にひたる面もみられました。

経過報告のあと、矢野武雄、八島喜久次さんの歴代功労者に感謝状が贈呈されました。

今年も六十五頭以上の放牧予定です。この二十年の間に、延数にすれば一千頭近い放牧数。しかもこの数にして事故は皆無事に近いと

## 育英資金に寄附

### 佐久間明静さん

二月二十六日、佐久間明静さん(山崎小館、七一歳)から町の育英資金の一助にと三万円の寄附がありました。ありがとうございます。さつそく育英会計に入れ、奨学金として活用させていただきます。

町の育英制度は、昭和二十七年に故山田長一さんが寄附された財産等をもとに発足し、二十年近くの実績をもっています。この間、奨学金として活用させていただきます。

います。名実ともに大牧野といえるでしょう。今後も町畜産振興の柱として、ますます発展してもらいたいものです。

度資金で四十人を数えます。貸与金額も、それぞれ、千六百四十三万円、二百九十三万円に上ります。



教育長から奥さんに感謝状を

しかし、育英財産の山林立木がまだ売却できるまでに、育英会計には、毎年町の一般会計から繰入れをしている状態です。佐久間さんは、この事情を知り、今回寄附を申し出られたわけですから、切実教育長は、翌日、感謝状を贈呈し、謝意を表しました。

## 編集日記

〇惑星直列現象が千年に一回見られるというので、早起しようと思つた。心掛けたものではよかつたが、ちよつと早目に起きてしまった。

〇満月が西方中天に、こうこうと輝きあたりは寂として音もない。寒いとはいっても、さすがに春の気配がただよって、頬をなぶるそよ風も肌にごころよい。

〇月はむかしから人間にとって、ひじょうになじみ深いものである。月は地上からほんのちよつと上れば行けるところだと思われていた。〇かぐや姫は雲に乗って月世界に行つたし、メニポスは鳥の翼を両手につけて、オリボスの山から月に飛んで行ったのである。

〇月は一年に二センチ程地球から遠ざかっていくというが、四十五億年前の月は、さよいまの倍ぐらゐの大きだったに違いない。

〇一九六九年夏、月面に二人の人間が降り立ったとき、月は第八の大陸と呼ばれるようになった。